名古屋学芸大学　学則

第１章　総則

（目的）

第１条　本学は、教育基本法の精神にのっとり学校教育法の定めるところにより、学術の中心として広く知識を授け、深く専門の学芸を教授研究し、国際社会の一員として人類社会の発展に寄与できる知的、道徳的及び応用的能力を有する個性豊かな人材を育成するとともに、文化の創造と人類の福祉に貢献することを目的とする。

（自己評価等）

第２条　本学は、教育研究水準の向上を図り、その目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について、自己点検及び評価を行い、その結果を公表する。

２　前項の自己点検及び評価を行うに当っての項目の設定、実施体制については別に定める。

３　本学は、自己点検及び評価の結果について、本学の職員以外の第三者による検証を行うものとする。

なお、第三者による検証の詳細は別に定める。

（情報の提供）

第３条　本学における教育研究活動等の状況については、研究紀要等の刊行物、その他の方法によってその情報を提供する。

（教育内容等の改善のための組織的な研修等）

第４条 本学は、授業内容及び方法の改善を図るため、全学的な研修及び研究を実施する。

２　前項の全学的な研修及び研究の実施に必要な事項は、別に定める。

（学部、学科及び学生定員）

第５条　本学に次の学部、学科及び専攻を置く。

一　管理栄養学部　管理栄養学科

二　メディア造形学部　映像メディア学科、デザイン学科、ファッション造形学科

三　ヒューマンケア学部　子どもケア学科、子どもケア専攻、幼児保育専攻、児童発達教育専攻

四　看護学部　看護学科

２　前項の各学部に置く学科の学生定員は、次のとおりとする。

<table>
<tr><th>学　部　名</th><th colspan="2">学　科　・　専　攻　名</th><th>入学定員</th><th>収容定員</th></tr>
<tr><td>管理栄養学部</td><td colspan="2">管理栄養学科</td><td>１６０人</td><td>６４０人</td></tr>
<tr><td rowspan="4">メディア造形学部</td><td colspan="2">映像メディア学科</td><td>１２０人</td><td>４８０人</td></tr>
<tr><td colspan="2">デザイン学科</td><td>９０人</td><td>３６０人</td></tr>
<tr><td colspan="2">ファッション造形学科</td><td>６０人</td><td>２４０人</td></tr>
<tr><td colspan="2">学　部　計</td><td>２７０人</td><td>１，０８０人</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ヒューマンケア学部</td><td rowspan="3">子どもケア学科</td><td>子どもケア専攻</td><td>６０人</td><td>２４０人</td></tr>
<tr><td>幼児保育専攻</td><td>１２０人</td><td>４８０人</td></tr>
<tr><td>児童発達教育専攻</td><td>４０人</td><td>１６０人</td></tr>
<tr><td colspan="2">学　部　計</td><td>２２０人</td><td>８８０人</td></tr>
</table>

看護学部	看護学科	１００人	４００人
大　　学　　計		７５０人	３，０００人

（各学部・学科の人材養成に係る目的）

第５条の２　本学の学部・学科の人材養成に係る目的を、次のとおりとする。

一　管理栄養学部

(1) 管理栄養学科

栄養学の実践に必要な知識・技術・態度を修得するために、食と健康に関わる様々な分野について総合的に学習し、健康増進、疾病予防、生命の延長及び生活の質の向上に寄与できる管理栄養士の養成を目指す。

二　メディア造形学部

(1) 映像メディア学科

映像は、視覚イメージ、音響、物語など、多様な要素が編み合わされ、その結びつきによって新たな表現へと発展していくメディアである。デジタルメディアの隆盛は、その状況を加速させ、今や映像は、生活のあらゆる局面に欠かすことのできない重要なメディアとなっている。このことを前提として、映像メディア学科では、映画、テレビ、3ＤＣＧ、アニメーション、サウンド、フォト、インスタレーション、パフォーマンスなどの諸領域を軸に、専門性を持ちながらメディア環境を広く見渡し、他者との協調によって新たな世界を切り拓き創造する人材の養成を目指す。

(2) デザイン学科

デザインは、人間が必要とするあらゆる健全さ（ウェルビーイング）に貢献する、様々な知見と技術を必要とする活動であり、社会課題が複雑さを増すにつれてその範囲は拡大し続けている。

これを前提として、デザイン学科では、視覚伝達、環境設計、商品開発、事業開発などのデザイン分野を軸に、専門性を持ちながら社会を広く俯瞰し、他者と協働して課題の発見・設定と解決に尽力する人材の育成を目指す。

(3) ファッション造形学科

ファッションデザイン、ファッションビジネス、バッグ、靴などのファッショングッズを含めて、服にとどまらない広範なファッション製品製作及び流通を理解し、世界のアパレル業界で活躍できる人材の養成を目指す。

三　ヒューマンケア学部

(1) 子どもケア学科

０歳から１８歳までの「子ども」の健全な成長・発達及び社会化を支援するために必要な専門知識・技能を有し、かつ広く子どもケアの活動に求められる豊かな人間性と多面的に人間を理解する力を有する、保育・幼児教育活動、学校保健活動、児童生徒等の教育及び心理面での支援活動などが行える専門職業人の養成を目指す。

四　看護学部

(1) 看護学科

看護実践力と看護創造力をそなえ、あらゆる看護の場面で、豊かな心と人間性、高い倫理観、人権尊重と人権擁護の立場から、看護専門職として科学的根拠と臨床判断に基づいて、心身両面からトータルケアできる、真の人間力を有する「未来志向の看護専門

職者」の養成を目指す。

（修業年限）

第６条 本学の学部の修業年限は、４年とする。

（在学年限）

第７条　卒業に必要な単位を修得するために在学できる年数は、通算して８年を限度とする。ただし、第３６条第１項の規定により入学した学生は、同条第２項に定められた在学すべき年数の２倍に相当する年数を超えて在学することができない。

（学年）

第８条　学年は、４月１日に始まり、翌年３月３１日に終わる。

（学期）

第９条　学年を次の２期に分ける。

前期　４月１日から９月１５日まで。

後期　９月１６日から翌年３月３１日まで。

（休業日）

第１０条　休業日は、次のとおりとする。

一　日曜日

二　国民の祝日に関する法律に規定する休日

三　夏期休業日　８月１日から９月１５日まで。

四　冬期休業日　１２月２４日から翌年１月６日まで。

五　春期休業日　３月２１日から３月３１日まで。

２　前項の規定にかかわらず、学長は、必要がある場合には臨時に休業日を設け、又は休業日を変更することができる。

第２章　教育課程

（教育課程の編成方針）

第１１条　本学における教育課程は、学部の学科にかかる専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう編成する。

（教育課程の編成方法）

第１２条　前条の教育課程は、各授業科目を必修科目、選択必修科目及び選択科目に分け、これを各学年に配当して編成する。

（授業科目の区分）

第１３条　授業科目を分けて、教養科目及び専門科目とする。

（授業の方法）

第１４条　授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより、又はこれらの併用により行うものとする。

２　前項の授業を多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で行うことができる。

（１年間の授業期間）

第１５条　１年間の授業を行う期間は、定期試験の期間を含め３５週にわたることを原則とする。

（各授業科目の授業期間）

第１６条　各授業科目の授業は、１５週にわたる期間を単位として行う。ただし、教育上特別の必要があると認められる場合は、特定の期間において短期集中的に授業を行うことができる。

（単位の計算方法）

第１７条　授業科目の単位の計算方法は、１単位の授業科目を４５時間の学修を必要とする内容をもって構成することとし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

一　講義及び演習については、１５時間の授業をもって１単位とする。ただし、特に必要と認める授業科目については、１５時間から３０時間までの範囲の授業をもって１単位とすることができる。

二　実験、実習及び実技については、３０時間の授業をもって１単位とする。ただし、特に必要と認める授業科目については、３０時間から４５時間までの範囲の授業をもって１単位とすることができる。

三　芸術の分野における個人指導による実技の授業については、１５時間から３０時間までの範囲の授業をもって１単位とすることができる。

四　卒業論文、卒業研究、課題研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して適切と認められる単位を定める。

（開設授業科目及び単位数）

第１８条　本学において開設する授業科目及び単位数は、別表第１のとおりとする。

（栄養士免許証授与資格並びに管理栄養士国家試験受験資格）

第１８条の２　本学の管理栄養学部管理栄養学科の課程を修了した者は、栄養士免許状を受ける資格並びに管理栄養士国家試験の受験資格を取得することができる。

２　前項の者には、別記第１号様式に定める証明書を発行する。

（看護師国家試験受験資格）

第１８条の３　看護学部看護学科の学生で、看護師国家試験受験資格を得ようとする者は、第２７条の規定によるほか、保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める所定の単位を修得しなければならない。

（教職課程）

第１９条　本学において教育職員免許状を取得しようとする者のために教職課程を置く。

２　教育職員免許状を取得しようとする者は、第２７条に規定する卒業に必要な単位のほかに、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に基づき本学が定めた別表第２－１の中から必要な単位を修得しなければならない。

３　本学の学部の学科において取得することができる免許状の種類は、次のとおりとする。

学　部　名	学　科　・　専　攻　名		教員の免許状の種類
管理栄養学部	管理栄養学科		栄養教諭一種免許状
ヒューマンケア学部	子どもケア学科	子どもケア専攻	養護教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状（保健） 中学校教諭一種免許状（保健）
		幼児保育専攻	幼稚園教諭一種免許状 小学校教諭一種免許状
		児童発達教育専攻	小学校教諭一種免許状 特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者） 特別支援学校教諭一種免許状（肢体不自由者） 特別支援学校教諭一種免許状（病弱者）

（学芸員課程）

第２０条　（削除）

（保育士資格の取得）

第２１条　ヒューマンケア学部の子どもケア学科幼児保育専攻の学生で、保育士の資格を得ようとする者は、児童福祉法施行規則(昭和２３年厚生省令第十一号)及び児童福祉法施行規則第六条の二第一項第三号の指定保育士養成施設の修業科目及び履修方法(平成１３年厚生労働省告示第百九十八号)に定めるところにより、保育士に関する科目を履修しなければならない。

２　保育士の資格取得に関する授業科目及び単位数は別表第２－３のとおりとする。

（単位の授与）

第２２条　授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。ただし、第１７条第４号の授業科目については、適切な方法により学修の成果を評価して単位を与えることができる。

２　試験の評価は、A+、A，B，C，Dをもって表わし、A+、A，B，Cを合格とする。

３　試験の実施等に関する事項は、別に定める。

（履修科目の登録の上限）

第２３条　学生は、学期当初に当該学期に履修する授業科目を登録しなければならない。

２　前項の履修登録に当っては、別に定める単位数を超えることができない。

（他の大学又は短期大学における授業科目の履修等）

第２４条　本学が教育上有益と認めるときは、学生が他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、６０単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

２　前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

（大学以外の教育施設等における学修）

第２５条　本学が教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修及び文部省告示（平成３年文部省告示第６８号）に定める学修を、本学における授業科目の学修とみなし、単位を与えることができる。

２　前項により与えることができる単位数は、前条第１項及び第２項により本学において修得

したものとみなす単位数と合わせて６０単位を超えないものとする。

（入学前の既修得単位等の認定）

第２６条　本学が教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、入学後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

２　本学が教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第１項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

３　前２項により修得したものとみなし又は与えることのできる単位数は、編入学・転入学・再入学の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第２４条第１項及び第２項並びに前条第１項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて６０単位を超えないものとする。

第３章　卒業及び学位

（卒業の要件）

第２７条　本学を卒業するためには４年以上在学し、次に定める単位を修得しなければならない。

一　管理栄養学部　教養科目２４単位以上及び専門科目８８単位以上、合計１２４単位以上

二　メディア造形学部　教養科目２４単位以上及び専門科目９０単位以上、合計１２４単位以上

三　ヒューマンケア学部　教養科目２４単位以上及び専門科目９０単位以上、合計１２４単位以上

四　看護学部　教養科目１８単位以上及び専門科目１０９単位以上、合計１２７単位以上

（卒業の認定）

第２８条　学長は、前条に規定する卒業の要件を満たした者について、教授会の議を経て卒業を認定する。

２　学長は、前項の規定により卒業を認定した者に対し、学位記を授与する。

３　卒業の時期は、学年の終わりとする。ただし、学長は、必要と認めた場合は、教授会の議を経て、学期の区分に従い卒業させることができる。

（学位）

第２９条　前条の卒業者には、次に定めるところにより学士の学位を授与する。

一　管理栄養学部	管理栄養学科	学士（管理栄養）
二　メディア造形学部	映像メディア学科	学士（映像メディア）
三　メディア造形学部	デザイン学科	学士（デザイン）
四　メディア造形学部	ファッション造形学科	学士（ファッション造形）
五　ヒューマンケア学部	子どもケア学科	学士（子ども学）
六　看護学部	看護学科	学士（看護学）

第４章 入学

（入学の時期）

第３０条　入学の時期は、学年の始めとする。ただし、必要と認めた場合は、学期の区分に従い入学させることができる。

（入学資格）

第３１条　本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

一　高等学校又は中等教育学校を卒業した者

二　通常の課程による１２年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）

三　外国において、学校教育における１２年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

四　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

五　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

六　文部科学大臣の指定した者

七　高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（高等学校卒業程度認定試験規則附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）

八　学校教育法第９０条第２項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

九　本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、１８歳に達したもの

（入学の出願）

第３２条　本学へ入学を志願する者は、入学願書に所定の入学検定料及び別に定める書類を添えて願い出なければならない。

（入学者の選考）

第３３条　前条の入学志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

（入学手続き及び入学許可）

第３４条　前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに誓約書その他必要な書類を提出するとともに、所定の入学金を納付しなければならない。

２　学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

（保証人）

第３５条　入学を許可された者は、保証人を定め指定する期間内に届け出なければならない。

２　保証人は、父母（父母なき場合は、これに代わる親族その他）とする。

３　保証人は、その学生の在学中、本人に係る一切の事項について責任を負う。

（編入学）

第３６条　次の各号の一に該当する者で、本学（看護学部を除く）へ編入学を志願する者があ

るときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に入学を許可することができる。

一　大学を卒業した者又は退学した者（但し、大学に２年以上在学し、６２単位以上を修得したものに限る。）

二　短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者

三　学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）第９２条の３に定める従前の規程による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了し、又は卒業した者

四　専修学校の専門課程（修業年限が２年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（学校教育法第９０条に規定する者に限る。）

五　外国において、学校教育における１４年の課程を修了した者又はこれに準ずる者

六　本学において、前各号に掲げる者と同等以上の学力があると認めた者

２　前項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取り扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て、学長が決定する。

（転入学）

第３７条　他の大学に在学する者で、本学へ転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に入学を許可することができる。

（転学部・転学科）

第３７条の２　所属学部、学科から他の学部、学科又は所属学部の他の学科へ転学科を志願する者があるときは、学長は、選考のうえ相当年次に転学部・転学科を許可することができる。但し管理栄養学部管理栄養学科、ヒューマンケア学部子どもケア学科及び看護学部看護学科への転学部・転学科は除く。

２　その他転学部・転学科に関する事項は、別に定める。

（再入学）

第３８条　第４７条により退学した者で、再入学を希望する者があるときは、欠員のある場合に限り、教授会の議を経て、学長がこれを再入学させることができる。

（外国人留学生）

第３９条　外国人で大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、外国人留学生として入学を許可することがある。

（研究生）

第４０条　本学において、特別の事項について研究しようとする者があるときは、選考の上、研究生として入学を許可することがある。

（科目等履修生）

第４１条　本学の学生以外の者で、本学の授業科目の履修を希望する者があるときは、本学の教育に支障のない限り、科目等履修生として履修を許可することがある。

２　科目等履修生には、本学則第２２条の規定を準用して、単位を与えることができる。

（外国人留学生、研究生及び科目等履修生）

第４２条　外国人留学生、研究生及び科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

第５章　休学、復学、留学、退学及び除籍

（休学）

第４３条　疾病その他やむを得ない事由により、２か月以上修学することができない者は、

学部長の許可を得て休学することができる。
２　休学しようとする者は、休学願いに、疾病の場合は医師の診断書、その他の場合は理由書を添え、保証人連署をもって願い出なければならない。
３　学部長は、修学することが適当でないと認める者について、休学を命ずることができる。
４　第１項及び第３項の休学は、教授会の議を経るものとする。
（休学期間）
第４４条　休学期間は、１年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、１年を限度として休学期間の延長を認めることができる。
２　在学中２回を超えて休学することはできない。
３　休学期間は、第２７条の在学期間に算入しない。
（復学）
第４５条　前条による休学期間中にその理由が消滅した場合は、教授会の議を経て、学部長がこれを復学させることができる。
２　復学しようとする者は、保証人と連署の復学願を提出しなければならない。
（留学）
第４６条　在学中に外国の大学又は短期大学で学修しようとする者は、教授会の議を経て、学部長がこれを許可する。
２　留学期間は、１年間に限り本学の修業年限に算入することができる。
３　その他留学に関する事項は、別に定める。
（退学）
第４７条　退学しようとする者（他の大学等へ入学又は転学しようとする者を含む。）は、保証人と連署の退学届を学生証とともに提出し、学長の許可を受けなければならない。
（除籍）
第４８条　次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て、学長が除籍する。
一　学費の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
二　第７条に定める在学年限を超えた者
三　第４４条に定める休学期間を超えてなお修学できない者
四　死亡又は長期間にわたり行方不明の者

第６章　入学検定料、入学金及び学費

（入学検定料、入学金及び学費の金額）
第４９条　本学の入学検定料、入学金及び学費（授業料、教育充実費及び演習・実験・実習費）の金額は、別表第３のとおりとする。
（学費の納付）
第５０条　学費は次の２期に分けて、それぞれ年額の２分の１ずつ納付しなければならない。
一　前期　納期４月１日
二　後期　納期９月１６日
２　その他学費の納付に関する事項は、別に定める。
（退学、除籍及び停学の場合の学費）

第５１条　学期の中途で退学し又は除籍された者は、その期の学費を全額納付しなければならない。
２　停学を命ぜられた者は、その期の学費を全額納付しなければならない。
（休学の場合の学費）
第５２条　休学期間の学費（休学のため学期の全期間修学しない場合）はこれを徴収しない。
２　前項の適用を受けようとする者は、学期の開始後１月以内に第４３条による休学手続により許可を得なければならない。
３　既納の学費の取扱については、別に定める。

（復学の場合の学費）
第５３条　学期の中途において復学した者は、別に定めるところにより、復学した学期の学費を納付しなければならない。
（学年の中途で卒業する場合の学費）
第５４条　学年の中途で卒業する者は、卒業する学期までに必要な学費をすべて納付するものとする。
（納付した学費等）
第５５条　納付した入学検定料、入学金及び学費は、原則として返還しない。ただし、入学前に納付した学費については、本学が定めた期日までに入学辞退を申し出たとき、または第５２条第３項による者は、この限りでない。
（学費の延納）
第５６条　正当な理由により学費を延納しなければならないときは、学期の開始後１月以内にその理由を学費延納願に記載し、保証人と連署で願い出なければならない。
２　その他学費の延納に関する事項は、別に定める。

第７章　組織及び運営

（学長）
第５７条　本学に学長を置く。
２　学長は、校務をつかさどり、所属教職員を統督する。
３　学長の任期、選考等に関する事項は、別に定める。
（副学長）
第５８条　本学に副学長若干名を置く。
２　副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。
３　副学長の任期、選考等に関する事項は、別に定める。
（学長補佐）
第５８条の２　本学に学長補佐若干名を置くことができる。
２　学長補佐は、学長の定めるところにより、学長の職責遂行を助ける。
３　学長補佐の任期、選考等に関する事項は、別に定める。
（学部長）
第５８条の３　本学学部に学部長を置く。学部長はその学部の教授をもって充てる。
２　学部長は、その学部の校務をつかさどり、所属教職員を統督する。

３　学部長の任期、選考等に関する事項は、別に定める。

（教職員）

第５９条　本学に教授、准教授、講師、助教、助手、教務職員、事務職員及び技術職員を置く。

（役職員）

第６０条　本学に研究科長、副学部長及び学科長のほか、図書館長（副図書館長）、教務部長、学生部長、教養教育機構長、地域連携推進研究機構長、教職課程主任、ファカルティ・ディベロップメント（ＦＤ）推進委員長、保健管理センター長、健康・栄養研究所長、教職センター長、事務局長その他必要な役職員を置く。

２　役職員の任期、選考等については、別に定める。

（評議会）

第６１条　本学に評議会を置く。

２　評議会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

一　学長

二　副学長

三　学長補佐

四　大学院研究科長

五　学部長

六　副学部長

七　図書館長（副図書館長）

八　教務部長

九　学生部長

十　教養教育機構長

十一　地域連携推進研究機構長

十二　学科長

十三　教職課程主任

十四　専攻主任

十五　ファカルティ・ディベロップメント（ＦＤ）推進委員長

十六　保健管理センター長

十七　健康・栄養研究所長

十八　教職センター長

一九　事務局長

二十　事務局部長

二十一　学長企画室長

二十二　アドミッション・オフィス室長

二十三　キャリア・サポートセンター室長

二十四　学長が必要と認め指定した者

３　評議会は、次の各号に掲げる事項を審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べなければならない。
一　学則その他重要な規程の制定改廃に関する事項
二　学部及び大学院その他の組織及び施設に関する重要な事項
三　教育課程の編成に関する事項
四　教育研究計画に関する重要な事項
五　地域連携・地域貢献に関する事項
六　教員人事に関する事項
七　教員の学外研修に関する事項
八　学生定員に関する事項
九　学部及び大学院その他の機関の連絡調整に関する事項
十　学生の福利厚生に関する事項
十一　学生の賞罰に関する事項
十二　その他大学の運営に関する重要事項
４　評議会に関し必要な事項は、別に定める。
（教授会）
第６２条　学部に教授会を置く。
２　教授会は、学部の教授をもって組織する。
３　教授会が必要と認めたときは、教授会の組織に准教授その他の教職員を加えることができる。
４　教授会は、その学部に関する次の事項を審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べなければならない。
一　学生の入学、卒業に関する事項
二　学位の授与に関する事項
三　教育課程の編成に関する事項
四　教員の教育研究業績の審査に関する事項
五　その他学長が定めた教育研究及び学部の運営に関する重要な事項
５　教授会は、前項に規定するもののほか、学長又は学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、学長又は学部長の求めに応じ、意見を述べることができる。
６　教授会に関し必要な事項は、別に定める。

第８章　図書館、教育研究施設

（図書館）
第６３条　本学に図書館を置き、図書その他の資料を収蔵管理し、教職員及び学生の利用に供する。
２　看護学部に図書館分室を置く。
３　図書館及び図書館分室に関して必要な事項は、別に定める。
（教育研究施設）
第６３条の２　本学に次の教育研究施設を置く。
一　教養教育機構

二　地域連携推進研究機構
三　健康・栄養研究所
四　教職センター
２　前項に規定する教育研究施設に関して必要な事項は、別に定める。
（学部附属教育研究施設）
第６３条の３　（削除）
第６３条の４　本学に、メディア造形学部附属産官学協同研究センターを置く。
２　前項に規定するメディア造形学部附属産官学協同研究センターに関して必要な事項は、別に定める。
第６３条の５　本学に、ヒューマンケア学部附属子どもケアセンターを置く。
２　前項に規定するヒューマンケア学部附属子どもケアセンターに関して必要な事項は、別に定める。
（公開講座）
第６４条　本学は、地域社会の教育、文化の向上に資するため、公開講座を開設することができる。

（厚生保健施設）
第６５条　本学に厚生保健のための施設として、保健管理センターを置く。
２　看護学部に保健管理センター分室を置く。
３　保健管理センター及び保健管理センター分室に関して必要な事項は、別に定める。

（育英・奨学制度）
第６６条　本学学生の育英・奨学のため、育英・奨学についての制度を設ける。
２　前項の制度について必要な事項は、別に定める。

第９章　賞罰

（表彰）
第６７条　学生としてよくその本分を尽くし、他の学生の模範となる行為があった者は、表彰する。
（懲戒）
第６８条　本学の規則に違反し、その他学生としての本分に反する行為があった者は、別に定めるところにより、学長が懲戒する。
２　懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。
３　前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。
一　性行不良で改善の見込みがない者
二　学業成績不良で成業の見込がない者
三　正当な理由がなくて出席常でない者
四　本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第１０章　別科

（別科）
第６８条の２　本学に別科助産学専攻を置く。
２　別科助産学専攻に関する規程は、名古屋学芸大学別科助産学専攻規程に定める。
３　別科助産学専攻については、別に定めのあるものを除き、名古屋学芸大学学則を準用する。

第１１章　雑則

（施行細則）
第６９条　この学則に定めるもののほか、その施行について必要な事項は、別に定める。

附　則
この学則は、平成１４年４月１日から施行する。

附　則
１ この改正は、平成１６年４月１日から施行する。
２ 改正後の第５条(学部、学科及び学生定員)第２項は、平成１６年度に入学した者から適用する。

附　則
１ この改正は、平成１７年４月１日から施行する。
２ 改正後の第５条第１項第３号及び第２項、第１９条第３項、第２７条第３号、第２９条第５号は、平成１７年度に入学した者から適用する。
但し、管理栄養学部管理栄養学科の学生については、前項の規定に係らず、第１９条第３項の規定については、平成１４年度に入学した者から適用する。

附　則
１ この改正は、平成１８年４月１日から施行する。
２ 改正後の第５条第２項、第１８条、第１９条第２項、第２７条は、平成１８年度に入学した者から適用する。

附　則
１ この改正は、平成１９年４月１日から施行する。
２ 改正後の第１８条、第１９条第２項は、平成１９年度に入学した者から適用する。

附　則
１ この改正は、平成２０年４月１日から施行する。
２ 改正後の第１８条は、平成２０年度に入学した者から適用する。

附　則

1　この改正は、平成２１年４月１日から施行する。

2　改正後の第１８条は、平成２１年度に入学した者から適用する。

附　則

1　この改正は、平成２２年４月１日から施行する。

2　改正後の第１８条は、平成２２年度に入学した者から適用する。

附　則

1　この改正は、平成２３年４月１日から施行する。

2　改正後の第１８条、第１９条第２項、第３項並びに第２１条第２項は、平成２３年度に入学した者から適用する。

附　則

1　この改正は、平成２４年４月１日から施行する。

2　改正後の第１８条、第１９条第２項並びに第２０条第２項は、平成２４年度に入学した者から適用する。

附　則

1　この改正は、平成２５年４月１日から施行する。

2　改正後の第５条の２、第１８条、第１９条第２項並びに第２１条第２項は、平成２５年度に入学した者から適用する。

附　則

1　この改正は、平成２６年４月１日から施行する。

2　改正後の第１８条、第１９条第２項、第２１条第２項並びに第４９条は、平成２６年度に入学した者から適用する。

附　則

1　この改正は、平成２７年４月１日から施行する。

2　改正後の第１８条は、平成２７年度に入学した者から適用する。

附　則

1　この改正は、平成２８年４月１日から施行する。

2　改正後の第１８条並びに第１９条第２項は、平成２８年度に入学した者から適用する。

附　則

1　この改正は、平成２９年４月１日から施行する。

2　改正後の第５条の２、第１８条並びに第１９条第２項は、平成２９年度に入学した者から適用する。

附　則

1　この改正は、平成２９年９月６日から施行する。

附　則

1　この改正は、平成３０年４月１日から施行する。

2　改正後の第５条の２、第１８条並びに第１９条第２項は、平成３０年度に入学した者から適用する。

3　第２０条は、平成３０年度以降に入学した者は適用しない。

附　則

1　この改正は、平成３０年１２月１日から施行する。

附　則

1　この改正は、平成３１年４月１日から施行する。

2　改正後の第１８条並びに第１９条第２項は、平成３１年度に入学した者から適用する。

附　則

1　この改正は、令和２年４月１日から施行する。

2　改正後の第１８条並びに第６８条の２は、令和２年度に入学した者から適用する。

3　ヒューマンケア学部に平成２９年度に入学した者は附則別表１－１を、平成３０年度に入学した者は附則別表１－２を、平成３１年度（令和元年度）に入学した者は附則別表１－３を適用する。

附則別表１－１，１－２及び１－３の表記は省略

附　則

1　この改正は、令和３年４月１日から施行する。

2　改正後の第５条第１項及び第２項、第１８条並びに第１９条第２項及び第３項は、令和３年度に入学した者から適用する。

附　則

1　この改正は、令和４年４月１日から施行する。

2　改正後の第５条の２、第１８条、第１９条第２項並びに第２７条は、令和４年度に入学した者から適用する。

附　則

1　この改正は、令和５年４月１日から施行する。

2　改正後の第１８条並びに第１９条第２項は、令和５年度に入学した者から適用する。

附　則

１　この改正は、令和６年４月１日から施行する。

２　改正後の第５条の２、第１８条並びに第１９条第２項は、令和６年度に入学した者から適用する。

附　則

１　この改正は、令和７年４月１日から施行する。

２　改正後の第５条の２並びに第１８条は、令和７年度に入学した者から適用する。

附　則

１　この改正は、令和８年４月１日から施行する。

２　改正後の第４９条は、令和８年度に入学した者から適用する。

別表第１
管理栄養学部管理栄養学科

授業科目			単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	備考
教養科目	英語の世界	英語コミュニケーションA		1		教養教育は、「英語の世界」から、計２単位以上を履修する。また、「人間の探究」、「歴史と文化」、「社会のしくみ」、「自然科学へのいざない」、「文学と芸術」、「ウェルネス」、「情報技術」、「世界の言語」及び「学際の探究」の９分野のうち６分野を選択、各２単位、計１２単位以上を修得する。加えて「一般開放科目群」の科目を含む、任意の科目から選択し合計２４単位以上を履修する。
		英語コミュニケーションB		1		
		総合英語A		2		
		総合英語B		2		
		実践英語A		2		
		実践英語B		2		
		実践英語C		2		
		実践英語D		2		
	人間の探究	哲学へのいざない		2		
		倫理学へのいざない		2		
		世界の宗教		2		
		心の科学		2		
	歴史と文化	日本の歴史		2		
		世界の歴史		2		
		民族と文化		2		
		世界の動き		2		
	社会のしくみ	法と社会		2		
		政治と社会		2		
		産業と経済		2		
		日本の憲法		2		
	自然科学へのいざない	数と形		2		
		確率と統計		2		
		自然のしくみ		2		
		人間と地球環境		2		
		科学の歴史		2		
	文学と芸術	日本の文学		2		
		海外の文学		2		
		美術の世界		2		
		音楽の世界		2		
		演劇の世界		2		
		映画の世界		2		
	ウェルネス	スポーツと健康(実習)A		1		
		スポーツと健康(実習)B		1		
		スポーツと健康科学		2		
	情報技術	情報リテラシー演習		2		
		表計算演習		2		
		プレゼンテーション演習		2		
		情報応用演習		2		
		情報社会の基礎		2		
	世界の言語	フランス語Ⅰ		2		
		フランス語Ⅱ		2		
		中国語Ⅰ		2		
		中国語Ⅱ		2		
		ポルトガル語		2		
	学際の探究	データ数理演習		2		
		ボランティア演習		2		
		職業と自己実現		2		
		コミュニケーション演習		2		

授業科目				単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	備考
教養科目	一般開放科目群		アートとしての数学		2		
			映画史		2		
			写真史		2		
			デザイン論		2		
			子どもと社会		2		
専門科目	専門基礎分野	管理栄養士専門基礎	管理栄養士概論		2		
			化学入門		2		
			基礎化学	2			
			人体生物学の基礎		2		
			栄養情報処理演習		1		
			管理栄養士特講（エキサイティング）		2		
		社会・環境と健康	公衆衛生学Ⅰ	2			
			公衆衛生学Ⅱ	2			
			公衆衛生学実習	1			
			医療福祉概論	2			
			医療福祉実習	1			
			食と環境		2		
			介護概論		2		
		人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	人体の構造と機能Ⅰ（恒常性維持）	2			
			人体の構造と機能Ⅱ（臓器・器官系）	2			
			解剖生理学実験	1			
			生化学Ⅰ	2			
			生化学Ⅱ	2			
			生化学実験	1			
			疾病の成り立ちⅠ（生活習慣病）	2			
			疾病の成り立ちⅡ（臓器・器官別疾患）	2			
			実践臨床医学	2			
			代謝栄養学実験	1			
			薬理学		2		
		食べ物と健康	食品学Ⅰ	2			
			食品学Ⅱ	2			
			食品微生物学	2			
			基礎食品栄養学実験	1			
			食品学実験Ⅰ	1			
			食品学実験Ⅱ	1			
			調理学	2			
			調理学実習Ⅰ	1			
			調理学実習Ⅱ	1			
	専門分野	基礎栄養学	基礎栄養学	2			
			分子栄養学		2		
			基礎栄養学実験	1			
		応用栄養学	応用栄養学Ⅰ	2			
			応用栄養学Ⅱ	2			
			応用栄養学Ⅲ	2			
			応用栄養学実習	1			
			スポーツと栄養		2		
		栄養教育論	栄養教育論	2			
			栄養指導論	2			
			栄養カウンセリング演習	2			
			栄養教育実習	1			

授業科目				単位数			備考
				必修	選択	自由	
専門科目	専門分野	臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	2			
			臨床栄養学Ⅱ	2			
			臨床栄養学Ⅲ	2			
			臨床栄養学Ⅳ	2			
			臨床栄養学実習Ⅰ	1			
			臨床栄養学実習Ⅱ	1			
		公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	2			
			公衆栄養学Ⅱ	2			
			公衆栄養学実習	1			
		給食経営管理論	給食管理	2			
			給食経営	2			
			給食管理実習	2			
		総合演習	総合演習Ⅰ	1			
			総合演習Ⅱ	1			
		臨地実習	管理栄養士実習	4			
		関連分野	管理栄養士演習入門		1		
			管理栄養士演習（卒業演習・研究）	4			
			国際栄養学演習		2		
			国際栄養・食文化演習		2		
			食と健康のフィールドワーク		1		
	キャリア支援分野	健康増進	健康運動実践指導論		2		
			健康運動実践指導演習		2		
			筋力トレーニングと水中運動		1		
			体力測定と救急処置		1		
		医療・介護	臨床医学特論		2		
			臨床医学演習		2		
			栄養ケアプロセス演習		2		
			食イベント計画演習		2		
		学校栄養	栄養教諭特論Ⅰ		2		
			栄養教諭特論Ⅱ		2		
			食物とアレルギー		2		
		行政栄養	食生活論		2		
			地域コミュニケーション論		2		
			栄養疫学		2		
		食品機能・食品安全	食品機能論		2		
			食ビジネス概論		2		
			保健機能食品学		2		
			衛生管理システム		2		

メディア造形学部

授業科目			単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	備考
教養科目	英語の世界	英語コミュニケーションA		1		教養科目は、「英語の世界」から、計２単位以上を修得する。また、「人間の探究」、「歴史と文化」、「社会のしくみ」、「自然科学へのいざない」、「文学と芸術」、「ウェルネス」、「情報技術」、「世界の言語」及び「学際の探究」の９分野のうち６分野を選択、各２単位、計１２単位以上を修得する。加えて「一般開放科目群」の科目を含む、任意の科目から選択し合計２４単位以上を修得する。
		英語コミュニケーションB		1		
		総合英語A		2		
		総合英語B		2		
		実践英語A		2		
		実践英語B		2		
		実践英語C		2		
		実践英語D		2		
	人間の探究	哲学へのいざない		2		
		倫理学へのいざない		2		
		世界の宗教		2		
		心の科学		2		
	歴史と文化	日本の歴史		2		
		世界の歴史		2		
		民族と文化		2		
		世界の動き		2		
	社会のしくみ	法と社会		2		
		政治と社会		2		
		産業と経済		2		
		日本の憲法		2		
	自然科学へのいざない	数と形		2		
		確率と統計		2		
		自然のしくみ		2		
		人間と地球環境		2		
		科学の歴史		2		
	文学と芸術	日本の文学		2		
		海外の文学		2		
		美術の世界		2		
		音楽の世界		2		
		演劇の世界		2		
		映画の世界		2		
	ウェルネス	スポーツと健康(実習)A		1		
		スポーツと健康(実習)B		1		
		スポーツと健康科学		2		
		食と健康		2		
	情報技術	情報リテラシー演習		2		
		表計算演習		2		
		プレゼンテーション演習		2		
		情報応用演習		2		
		情報社会の基礎		2		
	世界の言語	フランス語Ⅰ		2		
		フランス語Ⅱ		2		
		中国語Ⅰ		2		
		中国語Ⅱ		2		
		ポルトガル語		2		
	学際の探究	データ数理演習		2		
		ボランティア演習		2		
		職業と自己実現		2		
		コミュニケーション演習		2		

授業科目				単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	備考
教養科目	一般開放科目群		アートとしての数学		2		（映像メデイア学科を除く）
			映画史		2		（映像メデイア学科を除く）
			写真史		2		（映像メディア学科を除く）
			デザイン論		2		（デザイン学科を除く）
			子どもと社会		2		
専門科目	学部共通専門科目		キャリアデザインⅠ		2		各学科とも学部共通専門科目を含む専門科目９０単位以上修得のこと。
			キャリアデザインⅡ		2		
			プロジェクトA		2		
			プロジェクトB		2		
			産官学協同プロジェクト		2		
			メディア造形基礎（映像メディア）		2		（映像メディア学科を除く）
			メディア造形基礎（デザイン）		2		（デザイン学科を除く）
			メディア造形基礎（ファッション造形）		2		（ファッション造形学科を除く）
			ものつくり講座A		1		
			ものつくり講座B		1		
			ものつくり講座C		1		
			現代映像論		2		
			映画鑑賞・評価		2		
			メディア論（コミュニケーションとメディア）		2		
			美学		2		
			先端芸術論		2		
			ユニバーサルデザイン論		2		
			ブランディング論		2		
			ファッション情報論		2		
			アントレプレナー(起業・運営)		2		
	映像メディア学科専門科目	必修科目	映像メディア基礎演習A	4			
			映像メディア基礎演習B	4			
			造形基礎演習A	2			
			造形基礎演習B	2			
			映像メディア基礎論	2			
			メディアリテラシー演習	2			
			映像メディア表現論	2			
			映像メディア演習ゼミ	6			
			卒業研究・制作	8			
		選択必修科目	映像メディア演習（写真）		4		４科目の中から２科目８単位を修得すること。
			映像メディア演習（映画・ﾋﾞﾃﾞｵ）		4		
			映像メディア演習（CG・アニメーション）		4		
			映像メディア演習（サウンド）		4		
		選択科目	造形演習（ﾄﾞﾛｰｲﾝｸﾞ、ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾃﾞｻﾞｲﾝ、webﾃﾞｻﾞｲﾝ）		2		
			映像メディア領域演習A		2		
			映像メディア領域演習B		2		
			映像メディア領域演習C		2		
			映像メディア領域演習D		2		
			映像メディア領域演習E		2		
			映像メディア領域演習F		2		
			映像メディア領域演習G		2		
			人間研究		2		

授業科目				単位数			備考
				必修	選択	自由	
専門科目	映像メディア学科専門科目	選択科目	映像芸術概論		2		
			写真史		2		
			映画史		2		
			クリエイティブアニメーション基礎論		2		
			アートとしての数学		2		
			著作権		2		
			身体プレゼンテーション演習		2		
			映像演出論		2		
			ＶＦＸ演習		2		
			シナリオ演習Ⅰ		2		
			シナリオ演習Ⅱ		2		
			映画構造分析論		2		
			フィルム映像演習		2		
			デジタルフォトワーク基礎		2		
			デジタルフォトワーク		2		
			ＣＭ映像論		2		
			ドキュメンタリー論		2		
			３ＤＣＧ基礎Ⅰ		2		
			３ＤＣＧ基礎Ⅱ		2		
			アニメーション演習Ⅰ		2		
			アニメーション演習Ⅱ		2		
			デッサン		2		
			インタラクティブメディア基礎論		2		
			メディア映像演習		2		
			ドローン撮影技術		2		
			Ｗｅｂマネジメント演習		2		
			視覚表現のためのプログラミング演習		2		
			音楽基礎論		2		
			映像サウンド演習		2		
			映像音響論		2		
			映像メディア特別演習		2		
			音響プランニング特別演習		2		
			パフォーミング・アーツ論		2		
			パフォーマンス演習		2		
			インスタレーション演習		2		
			インターメディア・アート論		2		
			映像プロデュース論		2		
			マスコミ論		2		
			海外研修		2		

授業科目				単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	備考
専門科目	デザイン学科専門科目	総合探究系基礎科目	デザイン基礎ⅠA（発想と探求）	4			
			デザイン基礎ⅠB（表現）	2			
			デザイン基礎ⅡA	2			
			デザイン基礎ⅡB	2			
			デザイン基礎ⅢA	2			デザイン基礎ⅢA、ⅢBの2科目とも不認定の場合、2年次に留年
			デザイン基礎ⅢB	2			
			ビジュアルコミュニケーションデザイン基礎A		4		「ビジュアルコミュニケーションデザイン基礎 A」、「スペース・プロダクトデザイン基礎A」、「デザインプロデュース基礎A」のうち、いずれか1科目を履修すること。 不認定の場合、2年次留学
			スペース・プロダクトデザイン基礎A		4		
			デザインプロデュース基礎A		4		
			ビジュアルコミュニケーションデザイン基礎B		4		
			スペース・プロダクトデザイン基礎B		4		
			デザインプロデュース基礎B		4		
		総合探究系応用科目系	デザイン総合探究演習Ⅰ	4			不認定の場合、3年次に留年
			デザイン総合探究演習Ⅱ	4			不認定の場合、3年次に留年
			卒業制作・研究Ⅰ	6			
			卒業制作・研究Ⅱ	6			
		デザイン技術系科目	工房実習		1		
			デジタルリテラシーA		2		
			デジタルリテラシーB		1		
			デザイン基礎技術A		2		
			デザイン基礎技術B		2		
			デザイン表現技術A		1		
			デザイン表現技術B		1		
			デザイン表現技術C		1		
			デザイン表現技術D		1		
			デザイン表現技術E		1		
			デザイン表現技術F		2		
			デザイン表現技術G		2		
			デザイン加工技術A		1		
			デザイン加工技術B		2		
			デザイン加工技術C		2		
			デザイン加工技術D		2		
			デザイン加工技術E		2		
			デザイン思考技術A		1		
			デザイン思考技術B		1		
			デザイン思考技術C		1		
			デザイン思考技術D		1		
			デザイン思考技術E		1		
			領域デジタル演習Ⅰ		2		
			領域デジタル演習Ⅱ		2		
			領域デジタル演習Ⅲ		2		
			領域デジタル演習Ⅳ		2		

授業科目				単位数			備考
				必修	選択	自由	
専門科目	デザイン学科専門科目	デザイン実践系科目	横断領域演習Ａ		2		
			横断領域演習Ｂ		2		
			横断領域演習Ｃ		2		
			横断領域演習Ｄ		2		
			横断領域演習Ｅ		2		
			横断領域演習Ｆ		2		
			横断領域演習Ｇ		2		
			ビジュアルコミュニケーションデザイン領域演習A		2		
			ビジュアルコミュニケーションデザイン領域演習B		2		
			ビジュアルコミュニケーションデザイン領域演習C		2		
			ビジュアルコミュニケーションデザイン領域演習D		2		
			ビジュアルコミュニケーションデザイン領域演習E		2		
			スペースデザイン領域演習Ａ		2		
			スペースデザイン領域演習Ｂ		2		
			スペースデザイン領域演習Ｃ		2		
			スペースデザイン領域演習Ｄ		2		
			スペースデザイン領域演習Ｅ		2		
			プロダクトデザイン領域演習Ａ		2		
			プロダクトデザイン領域演習Ｂ		2		
			プロダクトデザイン領域演習Ｃ		2		
			プロダクトデザイン領域演習Ｄ		2		
			プロダクトデザイン領域演習Ｅ		2		
			プロダクトデザイン領域演習Ａ		2		
			プロダクトデザイン領域演習Ｂ		2		
			プロダクトデザイン領域演習Ｃ		2		
		デザイン講義系科目	デザイン論		2		
			デザイン史		2		
			デザイン技術論		2		
			デザイン特別講義		2		
			印刷論		2		
			ウェルビーイングとデザイン		2		
			素材研究		2		
			プロデュース基礎論		2		
			視覚デザイン論		2		
			デザインマネジメント		2		
			イノベーションとデザイン		2		
			建築史		2		
			プロデュース論		2		
			事業構想論		2		
			環境デザイン論		2		
		資格関連科目	空間デザイン計画		2		
			空間デザイン生産		1		
			空間デザイン法規		1		
			空間設計製図Ａ		2		
			空間設計製図Ｂ		2		

授業科目				単位数			備考
				必修	選択	自由	
専門科目	デザイン学科専門科目	資格関連科目	空間デザイン構法		2		
			空間デザイン材料		2		
			空間デザイン力学		2		
			空間デザイン環境		2		
			空間デザイン設備		1		
		その他専門科目	デザインプロジェクトA		2		
			デザインプロジェクトB		2		
			デザインプロジェクトC		2		
			デザインプロジェクトD		2		
			海外デザイン研修		2		
		DPコースへの開放科目群	映像メディア基礎演習A		4		2年次後期で「デザインプロデュース基礎A」および「デザインプロデュース基礎B」を履修した者」
			造形演習（Webデザイン）		2		
			インスタレーション演習		2		
			パフォーマンス演習		2		
			映像メディア特別演習		2		
			映像メディア演習（サウンド）		4		
			音響プランニング特別演習		2		
			インタラクティブメディア基礎論		2		
			クリエイティブアニメーション基礎論		2		
			テキスタイルデザイン		2		
			染色デザインⅠ		2		
			染色デザインⅡ		2		
			グッズ・クリエイトⅠ		2		
			ファッションショー企画・演出		2		
			ファッション流通・販売論		2		
			アパレル企画論		2		
			ブランドマネジメント		2		

授業科目					単位数			備考
					必修	選択	自由	
専門科目	ファッション造形学科専門科目	共通学科専門科目	デザイン	デザイン論	2			
				デザイン発想演習		2		
				デザイン演習Ⅰ	2			
				デザイン演習Ⅱ		2		
				デザイン演習Ⅲ		2		
				デザイン史		2		
				デッサン	2			
				デザイン画Ⅰ	1			
				デザイン画Ⅱ		1		
				色彩学		2		
				カラーコーディネイト		2		
				コンピュータグラフィックス演習Ⅰ	1			
				コンピュータグラフィックス演習Ⅱ		1		
				アパレルＣＧ企画		1		
				クリエイティブデザイン演習		2		
			ファッション・造形	ファッション造形論Ⅰ	2			
				ファッション造形論Ⅱ		2		
				ファッション造形演習Ⅰ	4			
				ファッション造形演習Ⅱ		4		
				ファッション造形演習Ⅲ		3		
				ファッション造形演習Ⅳ		3		
				ファッション造形演習Ⅴ		1		
				ドレーピングⅠ		2		
				パターンメーキングⅠ	1			
				パターンメーキングⅡ		1		
				パターンメーキングⅢ		1		
				パターンメーキングⅣ		1		
				アパレルＣＡＤ演習Ⅰ		1		
				アパレルＣＡＤ演習Ⅱ		1		
				アパレル企画論		2		
				アパレル設計・生産		2		
			テキスタイル・染	ファッション素材論	2			
				テキスタイル論		2		
				ファッション素材テスト	2			
				テキスタイルデザイン		2		
				織・編		2		
				染色デザインⅠ		2		
				染色デザインⅡ		2		
				テキスタイルケア	2			
				創作テキスタイル		1		
				染色加工学		2		
				コンピュータテクスチュア演習		2		
				染色加工学実験		1		

授業科目					単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	備考
専門科目	ファッション造形学科専門科目	共通学科専門科目	ビジネス	ファッションビジネス論	2			
				ファッション流通・販売論		2		
				マーケティングⅠ		2		
				ファッション商品論		2		
				マーチャンダイジング		2		
				プレゼンテーション		1		
				広告デザイン		2		
			その他の関連科目	舞台芸術・衣裳		2		
				スタイリスト演習（含メイク・ヘアメイク）		1		
				ファッションショー企画･演出		2		
				デザイン研修		2		
				海外デザイン研修		2		
				ファッション造形特別演習		2		
				ファッションデザイン特別講義		2		
				専門ゼミナール	4			
				卒業研究Ⅰ	2			
				卒業研究Ⅱ	4			
		コース別学科専門科目	デザインコース専門科目	ドレーピングⅡ		2		
				ドレーピングⅢ		1		
				デジタルデザイン画		2		
				ファッションクリエイト演習Ⅰ		2		
				ファッションクリエイト演習Ⅱ		2		
			クリエイティブコース専門科目	ビジュアルマーチャンダイジング		2		
				ドレーピングⅡ		2		
				グッズ・クリエイトⅠ		2		
				グッズ・クリエイトⅡ		2		
				テキスタイル制作		2		
			ビジネスコース専門科目	マーケティングⅡ		2		
				ビジュアルマーチャンダイジング		2		
				経営分析論		2		
				マーケティング演習		2		
				ブランドマネジメント		2		
		テキスタイルアドバイザー（衣料管理士）資格取得関連科目		テキスタイルテスト		2		
				ＴＡケーススタディ（含インターンシップ）		2		
				消費生活論		2		
				テキスタイルケア演習		2		
				アパレル生理衛生論		2		
				コンシューマーサイエンス		2		

ヒューマンケア学部

授業科目			単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	備考
教養科目	英語の世界	英語コミュニケーションA	1			教養科目は、「人間の探究」又は「歴史と文化」、「社会のしくみ」又は「文学と芸術」、「自然科学へのいざない」、の分野から各１科目、計３科目６単位以上、「英語の世界」を６単位以上、「情報技術」を２単位以上、以外に任意の選択科目から１０単位、合計２４単位以上を履修する。
		英語コミュニケーションB	1			
		総合英語A	2			
		総合英語B	2			
		実践英語A		2		
		実践英語B		2		
		実践英語C		2		
		実践英語D		2		
	人間の探究	哲学へのいざない		2		
		倫理学へのいざない		2		
		世界の宗教		2		
		心の科学		2		児童発達教育専攻は除く
	歴史と文化	日本の歴史		2		
		世界の歴史		2		
		民族と文化		2		
		世界の動き		2		
	社会のしくみ	法と社会		2		
		政治と社会		2		
		産業と経済		2		
		日本の憲法		2		
	自然科学へのいざない	数と形		2		
		確率と統計		2		
		自然のしくみ		2		
		人間と地球環境		2		
		科学の歴史		2		
	文学と芸術	日本の文学		2		
		海外の文学		2		
		美術の世界		2		
		音楽の世界		2		
		演劇の世界		2		
		映画の世界		2		
	ウェルネス	スポーツと健康(実習)A		1		
		スポーツと健康(実習)B		1		
		スポーツと健康科学		2		
		食と健康		2		
	情報技術	情報リテラシー演習	2			
		表計算演習		2		
		プレゼンテーション演習		2		
		情報応用演習		2		
		情報社会の基礎		2		
	世界の言語	フランス語Ⅰ		2		
		フランス語Ⅱ		2		
		中国語Ⅰ		2		
		中国語Ⅱ		2		
		ポルトガル語		2		
	学際の探究	データ数理演習		2		
		ボランティア演習		2		
		職業と自己実現		2		
		コミュニケーション演習		2		

授業科目				単位数			備考
				必修	選択	自由	
教養科目	一般開放科目群		アートとしての数学		2		
			映画史		2		
			写真史		2		
			デザイン論		2		
専門科目	学科共通専門科目	象徴科目	ヒューマンケア論	2			
			子どもケア論	2			
		保育・教育学領域	子育ての原理		2		
			比較教育		2		
		保健領域	子どもの病気Ⅰ		2		
			子どもの保健		2		
		社会福祉学領域	社会福祉論		2		
			子どもの福祉		2		
		現代的諸課題領域	子どもと社会		2		
			ジェンダー論		2		
		導入科目	子どもケア基礎演習	2			
		実践スキル領域	子どもケア海外特別演習		2		

授業科目					単位数又は時間数			備考
					必修	選択	自由	
専門科目	子どもケア学科専門科目	子どもケア専攻専門科目	衛生学・予防医学	衛生学	2			
				公衆衛生学（予防医学）		2		
				学校環境衛生		2		
				健康管理学		2		
			栄養学	栄養学（食品学）	2			
				子どもの栄養と食生活		2		
			人体の構造と機能	身体のしくみⅠ	2			
				身体のしくみⅡ		2		
			疾病予防と管理	精神保健	2			
				思春期保健	2			
				微生物学・免疫学	2			
				薬理学		2		
				子どもの病気Ⅱ				
			学校保健・養護学	学校保健		2		
				学校保健実習		2		
				学校保健演習		1		
				学校安全		2		
				養護概論Ⅰ		2		
				養護概論Ⅱ		2		
				養護活動演習		2		
				健康相談の理論と方法		2		
				健康相談演習		2		
				養護教諭キャリアデザインⅠ		2		
				養護教諭キャリアデザインⅡ		2		
				養護教諭キャリアデザインⅢ		2		
				養護教諭キャリアデザインⅣ		2		
			看護学	看護学Ⅰ	2			
				看護学Ⅱ	2			
				看護学実習		2		
				救急処置		2		
				臨床実習指導		2		
				臨床実習		2		
			心理学	生涯発達心理学Ⅰ	2			
				臨床心理学	2			
			統計学	保健統計学		2		
				保健統計学演習		2		
			教科指導法（保健）	保健科教育法Ⅰ		2		
				保健科教育法Ⅱ		2		
				保健科教育法Ⅲ		2		
				保健科教育法Ⅳ		2		

授業科目					単位数又は時間数			備考
					必修	選択	自由	
専門科目	子どもケア学科専門科目	子どもケア専攻専門科目	教職専門	教職入門	2			
				特別支援基礎概論		2		
				学校経営論		2		
				教育方法論		1		
				ＩＣＴ活用の理論と実践		1		
				教育原論	2			
				教育課程		2		
				道徳教育の指導法		2		
				特別活動の指導法		2		
				教育心理		2		
				教育相談とカウンセリング		2		
				教育行政学		2		
				生徒指導論		2		
				進路指導論		2		
				総合的な学習の時間の指導法		2		
				教職実践演習（養護教諭）		2		
				教職実践演習（中・高）		2		
			教育実習	養護実習指導		1		
				養護実習		4		
				教育実習指導		1		
				教育実習Ⅰ（中・高）		2		
				教育実習Ⅱ（中）		2		
			ゼミナール	ゼミナールⅠ（研究導入）	2			
				ゼミナールⅡ（研究展開）	2			
				ゼミナールⅢ（卒業研究）	2			

授業科目						単位数又は時間数			備考
						必修	選択	自由	
専門科目	子どもケア学科専門科目	幼児保育専攻専門科目	専攻基礎		幼児・児童教育課程論	2			
					幼児理解	2			
					保育者論	2			
					幼小接続論	2			
			保育・教育学	保育の知識・技能	子どもと健康	2			
					子どもと人間関係	2			
					子どもと環境	2			
					子どもと言葉	2			
					子どもと音楽表現		1		
					子どもと造形表現		1		
					子どもと身体表現		1		
					乳児保育	2			
					特別支援基礎概論		2		
					医療保育概論		2		
					子ども音楽療育概論		2		
					多文化理解と保育		1		
				保育内容指導・方法	保育内容総論	2			
					保育内容指導法（健康）	1			
					保育内容指導法（人間関係）		1		
					保育内容指導法（環境）	1			
					保育内容指導法（言葉）		1		
					保育内容指導法（表現）	1			
					乳児保育演習		1		
					特別支援基礎演習		2		
					音楽表現基礎演習		1		
					医療保育演習		1		
					子ども音楽療育演習		1		
			社会福祉学		社会的養護	2			
					社会的養護内容		1		
					子ども家庭支援論	2			
					子育て支援		1		
					子どもソーシャルワーク		2		
			保健		子どもの健康と安全		1		
					子どもの栄養と食生活		2		
					子どもの病気Ⅱ		2		
			心理学		生涯発達心理学Ⅰ	2			
					教育心理		2		
					子ども家庭支援の心理学		2		
					子どものメンタルヘルス		2		
					教育相談とカウンセリング		2		
					遊戯療法		1		

授業科目						単位数又は時間数			備考
						必修	選択	自由	
専門科目	子どもケア学科専門科目	幼児保育専攻専門科目	教職専門知識		教職入門	2			
					教育原論	2			
					教育方法論		1		
					ＩＣＴ活用の理論と実践		1		
					道徳教育の指導法		2		
					総合的な学習の時間の指導法		2		
					特別活動の指導法		2		
					生徒指導論		2		
					教育行政学		2		
					進路指導論		2		
			初等教育	教科	国語	2			
					社会		2		
					算数		2		
					理科		2		
					生活	2			
					音楽		2		
					図画工作		2		
					家庭		2		
					体育		2		
					英語		2		
				教科指導法	初等国語科教育法	1			
					初等社会科教育法		1		
					初等算数科教育法		1		
					初等理科教育法		1		
					初等生活科教育法	1			
					初等音楽科教育法		1		
					初等図画工作科教育法		1		
					初等家庭科教育法		1		
					初等体育科教育法		1		
					初等英語科教育法		1		
			実践・資格演習		保育・教職実践演習（幼・小）		2		
					レクリエーション概論		2		
					レクリエーション演習		1		
					ピアノ特別演習Ⅰ		1		
					ピアノ特別演習Ⅱ		1		
					保育職キャリアデザインⅠ		1		
					保育職キャリアデザインⅡ		1		
			教職・保育実習		教育実習指導（幼・小）		1		
					教育実習Ⅰ（幼・小）		2		
					教育実習Ⅱ（幼・小）		2		
					保育実習指導Ⅰ		2		
					保育実習Ⅰ		4		

授業科目					単位数又は時間数			備考
					必修	選択	自由	
専門科目	子どもケア学科専門科目	幼児保育専攻専門科目	教職・保育実習	保育実習指導Ⅱ		1		
				保育実習指導Ⅲ		1		
				保育実習Ⅱ(保育所実習)		2		
				保育実習Ⅲ(施設実習)		2		
			ゼミナール	ゼミナールⅠ (研究導入)	2			
				ゼミナールⅡ (研究展開)	2			
				ゼミナールⅢ (卒業研究)	2			

授業科目					単位数又は時間数			備考
					必修	選択	自由	
専門科目	子どもケア学科専門科目	児童発達教育専攻専門科目	教育領域	教職入門	2			
				教育原論	2			
				特別支援基礎概論	2			
				児童教育課程論	2			
				教育方法論	1			
				ＩＣＴ活用の理論と実践	1			
				特別活動の指導法		2		
				道徳教育の指導法	2			
				教育行政学	2			
				生徒指導論	2			
				教育相談とカウンセリング	2			
				総合的な学習の時間の指導法		2		
				進路指導論		2		
			初等教育領域	国語	2			
				社会	2			
				算数	2			
				理科	2			
				生活	2			
				音楽		2		
				図画工作		2		
				家庭		2		
				体育		2		
				小学校英語A	2			
				小学校英語B	2			
				初等国語科教育法	1			
				初等社会科教育法	1			
				初等算数科教育法	1			
				初等理科教育法	1			
				初等生活科教育法		1		
				初等音楽科教育法		1		
				初等図画工作科教育法		1		
				初等家庭科教育法		1		
				初等体育科教育法		1		
				初等英語科教育法		1		
				教育実習指導（小）		1		
				教育実習Ⅰ（小）		2		
				教育実習Ⅱ（小）		2		
				教職実践演習（小学校）		2		

授業科目					単位数又は時間数			備考
					必修	選択	自由	
専門科目	子どもケア学科専門科目	児童発達教育専攻専門科目	特別支援教育領域	特別支援教育論	2			
				知的障害者の心理・生理・病理Ⅰ		2		
				知的障害者の心理・生理・病理Ⅱ		2		
				肢体不自由者の心理・生理・病理		2		
				病弱者の心理・生理・病理		2		
				知的障害者教育方法論Ⅰ		2		
				知的障害者教育方法論Ⅱ		2		
				肢体不自由者教育方法論		2		
				病弱者教育方法論		2		
				視覚障害者教育総論		1		
				聴覚障害者教育総論		1		
				発達障害者教育論		1		
				重複等障害者教育論		2		
				教育実習指導(特別支援)		1		
				教育実習(特別支援)		2		
			心理学領域	心理学概論Ⅰ	2			
				心理学概論Ⅱ	2			
				心理学研究法	2			
				心理統計学	2			
				心理学実験演習Ⅰ	2			
				心理学実験演習Ⅱ	2			
				認知心理学		2		
				学習心理学		2		
				生涯発達心理学Ⅰ		2		
				生涯発達心理学Ⅱ		2		
				教育心理		2		
				臨床心理学		2		
				パーソナリティ心理学		2		
				心理面接演習		2		
				心理アセスメント演習		2		
				社会心理学		2		
				組織心理学		2		
				家族心理学		2		
			特別演習	特別演習A(保健医療領域)		2		「特別演習Ａ～Ｅ」から２科目４単位以上履修する。
				特別演習B(福祉領域)		2		
				特別演習C(発達・教育領域)		2		
				特別演習D(多文化共生)		2		
				特別演習E(リスクマネジメント)		2		
			ゼミナール	ゼミナールⅠ (研究導入)	2			
				ゼミナールⅡ (研究展開)	2			
				ゼミナールⅢ (卒業研究)	2			

看護学部看護学科

授業科目			単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	備考
教養科目	学び方入門	基礎ゼミナール	1			系列『学び方入門』から２単位
		アカデミックライティング	1			
	英語の世界	英語コミュニケーションA	1			「英語コミュニケーションA・B」の２単位必修、「臨床看護英語A・B」「英語論文講読A・B」、より各１単位修得する。
		英語コミュニケーションB	1			
		臨床看護英語A		1		
		臨床看護英語B		1		
		英語論文講読A		1		
		英語論文講読B		1		
	人間の探究	哲学へのいざない		2		教養科目は、『人間の探究』、『歴史と文化』、『社会のしくみ』、『文学と芸術』、『学際の探究』の16科目から６単位以上、『自然科学へのいざない』の３科目より２単位以上、『ウェルネス』の４科目より１単位以上、『情報技術』の４科目より１単位以上、『世界の言語』の中国語・フランス語・ポルトガル語・日本語表現から１言語選択２単位以上あるいは２言語で「Ⅰ」の科目を選択し２単位以上、『英語の世界』の選択必修科目と合わせて18単位以上を修得する。
		心の科学		2		
		人間と教育		2		
		民族と文化		2		
	歴史と文化	日本の歴史		2		
		医療の歴史		2		
		海外の文学		2		
	社会のしくみ	法と社会		2		
		日本の憲法		2		
		社会と福祉		2		
		世界の動き		2		
	自然科学へのいざない	生命の科学		2		
		性差の科学		2		
		人間と地球環境		2		
	文学と芸術	音楽の世界		2		
		映画の世界		2		
		演劇の世界		2		
	ウェルネス	スポーツと健康１		1		
		スポーツと健康２		1		
		スポーツと健康科学		2		
		食と健康		2		
	情報技術	情報リテラシー演習		1		
		表計算演習		1		
		プレゼンテーション演習		1		
		情報社会の基礎		2		
	学際の探究	ボランティア演習		2		
		データ数理演習		2		
	世界の言語	中国語Ⅰ		1		
		中国語Ⅱ		1		
		フランス語Ⅰ		1		
		フランス語Ⅱ		1		
		ポルトガル語Ⅰ		1		
		ポルトガル語Ⅱ		1		
		日本語表現Ⅰ		1		
		日本語表現Ⅱ		1		

授業科目			単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	備考
専門基礎科目	専門基礎入門	専門基礎入門１（看護と生物）		1		2 科目 2 単位以上を選択必修とする。
		専門基礎入門２（看護と化学）		1		
		専門基礎入門３（看護と物理）		1		
		専門基礎入門４（看護と統計）		1		
	心の理解	臨床心理学		1		1 単位以上
		コミュニケーション論		2		
		生命倫理	2			
	人体の構造と機能	解剖生理学 1	2			
		解剖生理学 2	2			
		生化学	2			
	疾病の成り立ちと回復の促進	病理学	1			
		診断治療学概論	1			
		病態治療学 1	2			
		病態治療学 2	2			
		病態治療学 3	2			
		病態治療学 4	2			
		病態治療学 5	2			
		薬理学	2			
		微生物学	1			
	健康支援と社会保障制度	関係法規	2			
		公衆衛生学	2			
		医療概論	1			
		社会保障制度	1			
専門教育科目	基礎看護学領域	看護学概論	2			
		基礎看護学技術論 1	2			
		基礎看護学技術論 2	2			
		基礎看護学技術論 3	2			
		基礎看護技術演習	2			
		ヘルスアセスメント	1			
		人間関係論	1			
		看護情報学		1		
		基礎看護学実習 1	1			看護学実習（集中）
		基礎看護学実習 2	2			看護学実習（集中）
	地域・在宅看護学領域	地域看護学概論	2			
		在宅看護学概論	2			
		在宅看護方法論	2			
		在宅看護学演習	1			
		在宅看護学実習	2			看護学実習（集中）
	成人・老年看護学領域	成人・老年看護学概論	2			
		保健行動論	1			
		急性期看護	2			
		慢性期看護	2			
		終末期看護	1			
		急性期実習	2			看護学実習（集中）
		慢性期実習	2			看護学実習（集中）
		がん看護実習	1			看護学実習（集中）
		老年学	1			
		療養生活支援論	2			
		高齢者療養生活支援実習	1			看護学実習（集中）

授業科目			単位数			備考
			必修	選択	自由	
専門教育科目	小児看護学領域	小児看護学概論	1			
		小児看護方法論	2			
		生涯発達論	2			
		障害と看護		1		
		小児看護学実習	2			看護学実習（集中）
	母性看護学領域	母性看護学概論	1			
		母性看護方法論 1	2			
		母性看護方法論 2	2			
		母性看護学実習	2			看護学実習（集中）
	精神看護学領域	精神看護学概論	1			
		精神看護方法論 1	2			
		精神看護方法論 2	1			
		精神看護学実習	2			看護学実習（集中）
	看護の統合と実践	健康生活支援論	1			
		セーフティネット医療論	1			
		医療安全	1			
		看護管理		1		
		災害看護		1		
		家族看護学		1		
		統合看護技術論	1			
		看護早期体験実習	1			看護学実習（集中）
		地域の暮らしを理解する実習	1			看護学実習（集中）
		セーフティネット実習	1			看護学実習（集中）
		統合実習	3			看護学実習（集中）
		国際看護学	1			
		国際看護学演習		1		
		海外の医療と文化(海外研修)		2		
		看護研究 1	1			
		看護研究 2	4			
自由選択科目		特別講義 1			1	
		特別講義 2			1	

別表第２－１　　教職課程
管理栄養学部管理栄養学科
・栄養教諭一種免許状

区分	授　業　科　目	単位数		備　　考
		必修	選択	
栄養に係る教育に関する科目	学校栄養指導論Ⅰ		2	必修
	学校栄養指導論Ⅱ		2	必修
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論		2	必修
	教職入門		2	必修
	教育行政学		2	必修
	教育心理		2	必修
	特別支援基礎概論		2	必修
	教育課程		2	必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の指導法		2	必修
	総合的な学習の時間の指導法		2	必修
	特別活動の指導法		2	必修
	教育方法論		1	必修
	ＩＣＴ活用の理論と実践		1	必修
	生徒指導論		2	必修
	教育相談とカウンセリング		2	必修
教育実践に関する科目	栄養教育実習指導		1	必修
	栄養教育実習		1	必修
	教職実践演習（栄養教諭）		2	必修
その他の科目	日本の憲法		2	必修
	スポーツと健康(実習)Ａ		1	２単位選択必修
	スポーツと健康(実習)Ｂ		1	
	スポーツと健康科学		2	
	英語コミュニケーションＡ		1	必修
	英語コミュニケーションＢ		1	必修
	情報リテラシー演習		2	必修

ヒューマンケア学部子どもケア学科子どもケア専攻
・中学校教諭一種免許状（保健）・高等学校教諭一種免許状（保健）

区分		授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	身体のしくみⅠ	2		
		身体のしくみⅡ		2	
		栄養学(食品学)	2		
		子どもの栄養と食生活		2	
		微生物学・免疫学	2		
		衛生学	2		
		公衆衛生学(予防医学)		2	必修
		子どもの病気Ⅰ		2	必修
		子どもの病気Ⅱ		2	
		学校保健		2	必修
		学校保健実習		2	
		子どもの保健		2	必修
		思春期保健	2		
		精神保健	2		
		学校安全		2	必修
		救急処置		2	必修
	各教科の指導法	保健科教育法Ⅰ		2	必修
		保健科教育法Ⅱ		2	必修
		保健科教育法Ⅲ		2	必修
		保健科教育法Ⅳ		2	中学校教諭一種免許状取得者のみ必修
教育の基礎的理解に関する科目		教育原論	2		
		教職入門	2		
		教育行政学		2	必修
		教育心理		2	必修
		生涯発達心理学Ⅰ	2		
		特別支援基礎概論		2	必修
		教育課程		2	必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		道徳教育の指導法		2	中学校教諭一種免許状取得者のみ必修
		総合的な学習の時間の指導法		2	必修
		特別活動の指導法		2	必修
		教育方法論		1	必修
		ＩＣＴ活用の理論と実践		1	必修
		生徒指導論		2	必修
		教育相談とカウンセリング		2	必修
		進路指導論		2	必修
教育実践に関する科目		教育実習指導（中・高）		1	必修
		教育実習Ⅰ（中・高）		2	必修
		教育実習Ⅱ（中）		2	中学校教諭一種免許状取得者のみ必修
		教職実践演習（中・高）		2	必修
大学が独自に設定する科目		道徳教育の指導法		2	高等学校教諭一種免許状取得者のみ

区分	授　業　科　目	単位数		備　　考
		必修	選択	
その他の科目	日本の憲法		2	必修
	スポーツと健康(実習) A		1	２単位選択必修
	スポーツと健康(実習) B		1	
	スポーツと健康科学		2	
	英語コミュニケーションA	1		
	英語コミュニケーションB	1		
	情報リテラシー演習	2		

・　養護教諭一種免許状

区分	授　業　科　目	単位数		備　　考
		必修	選択	
養護に関する科目	衛生学	2		
	公衆衛生学(予防医学)		2	必修
	子どもの病気Ⅰ		2	必修
	子どもの病気Ⅱ		2	
	学校保健		2	必修
	学校保健実習		2	
	養護概論Ⅰ		2	必修
	養護概論Ⅱ		2	
	養護活動演習		2	
	健康相談の理論と方法		2	必修
	栄養学(食品学)	2		
	子どもの栄養と食生活		2	
	身体のしくみⅠ	2		
	身体のしくみⅡ		2	
	微生物学・免疫学	2		
	薬理学		2	必修
	精神保健	2		
	看護学Ⅰ	2		
	看護学Ⅱ	2		
	看護学実習		2	必修
	臨床実習指導		2	必修
	臨床実習		2	必修
	救急処置		2	必修
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	2		
	教職入門	2		
	教育行政学		2	必修
	教育心理		2	必修
	生涯発達心理学Ⅰ	2		
	特別支援基礎概論		2	必修
	教育課程		2	必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の指導法		2	必修
	総合的な学習の時間の指導法		2	必修
	特別活動の指導法		2	必修
	教育方法論		1	必修
	ＩＣＴ活用の理論と実践		1	必修
	生徒指導論		2	必修
	教育相談とカウンセリング		2	必修
教育実践に関する科目	養護実習指導		1	必修
	養護実習		4	必修
	教職実践演習（養護教諭）		2	必修

区分	授　業　科　目	単位数		備　　考
		必修	選択	
その他の科目	日本の憲法		2	必修
	スポーツと健康(実習) A		1	２単位選択必修
	スポーツと健康(実習) B		1	
	スポーツと健康科学		2	
	英語コミュニケーションA	1		
	英語コミュニケーションB	1		
	情報リテラシー演習	2		

ヒューマンケア学部子どもケア学科幼児保育専攻
・幼稚園教諭一種免許状

区分		授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	子どもと健康	2		
		子どもと人間関係	2		
		子どもと環境	2		
		子どもと言葉	2		
		子どもと音楽表現		1	必修
		子どもと造形表現		1	必修
		子どもと身体表現		1	必修
	領域及び保育内容の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	保育内容総論	2		
	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	保育内容科指導法（健康）	1		
		保育内容科指導法（人間関係）		1	必修
		保育内容科指導法（環境）	1		
		保育内容科指導法（言葉）		1	必修
		保育内容科指導法（表現）	1		
教育の基礎的理解に関する科目		教育原論	2		
		教職入門	2		
		教育行政学		2	必修
		教育心理		2	必修
		生涯発達心理学Ⅰ	2		
		特別支援基礎概論		2	必修
		特別支援基礎演習		2	必修
		幼児・児童教育課程論	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		教育方法論		1	必修
		ＩＣＴ活用の理論と実践		1	必修
		幼児理解	2		
		教育相談とカウンセリング		2	必修
教育実践に関する科目		教育実習指導（幼・小）		1	必修
		教育実習Ⅰ（幼・小）		2	必修
		教育実習Ⅱ（幼・小）		2	必修
		保育・教職実践演習（幼・小）		2	必修
大学が独自に設定する科目		子どものメンタルヘルス		2	必修
		幼小接続論	2		

区分	授　業　科　目	単位数		備　　考
		必修	選択	
その他の科目	日本の憲法		2	必修
	スポーツと健康(実習) A		1	２単位選択必修
	スポーツと健康(実習) B		1	
	スポーツと健康科学		2	
	英語コミュニケーションA	1		
	英語コミュニケーションB	1		
	情報リテラシー演習	2		

・小学校教諭一種免許状

区分		授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語	2		
		社会		2	必修
		算数		2	必修
		理科		2	必修
		生活	2		
		音楽		2	必修
		図画工作		2	必修
		家庭		2	必修
		体育		2	必修
		英語		2	必修
	各教科の指導法	初等国語科教育法	1		
		初等社会科教育法		1	必修
		初等算数科教育法		1	必修
		初等理科教育法		1	必修
		初等生活科教育法	1		
		初等音楽科教育法		1	必修
		初等図画工作科教育法		1	必修
		初等家庭科教育法		1	必修
		初等体育科教育法		1	必修
		初等英語科教育法		1	必修
教育の基礎的理解に関する科目		教育原論	2		
		教職入門	2		
		教育行政学		2	必修
		教育心理		2	必修
		生涯発達心理学Ⅰ	2		
		特別支援基礎概論		2	
		特別支援基礎演習		2	必修
		幼児・児童教育課程論	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		道徳教育の指導法		2	必修
		総合的な学習の時間の指導法		2	必修
		特別活動の指導法		2	必修
		教育方法論		1	必修
		ＩＣＴ活用の理論と実践		1	必修
		生徒指導論		2	必修
		教育相談とカウンセリング		2	必修
		進路指導論		2	必修
教育実践に関する科目		教育実習指導（幼・小）		1	必修
		教育実習Ⅰ（幼・小）		2	必修
		教育実習Ⅱ（幼・小）		2	必修
		保育・教職実践演習（幼・小）		2	必修
その他の科目		日本の憲法		2	必修
		スポーツと健康（実習）Ａ		1	２単位選択必修
		スポーツと健康（実習）Ｂ		1	
		スポーツと健康科学		2	
		英語コミュニケーションＡ	1		
		英語コミュニケーションＢ	1		
		情報リテラシー演習	2		

ヒューマンケア学部子どもケア学科児童発達教育専攻
・小学校教諭一種免許状

区分		授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語	2		
		社会	2		
		算数	2		
		理科	2		
		生活	2		
		音楽		2	必修
		図画工作		2	必修
		家庭		2	必修
		体育		2	必修
		小学校英語A	2		
		小学校英語B	2		
	各教科の指導法	初等国語科教育法	1		
		初等社会科教育法	1		
		初等算数科教育法	1		
		初等理科教育法	1		
		初等生活科教育法	1		
		初等音楽科教育法		1	必修
		初等図画工作科教育法		1	必修
		初等家庭科教育法		1	必修
		初等体育科教育法		1	必修
		初等英語科教育法	1		
教育の基礎的理解に関する科目		教育原論	2		
		教職入門	2		
		教育行政学	2		
		教育心理	2		
		生涯発達心理学Ⅰ	2		
		特別支援基礎概論	2		
		児童教育課程論	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		道徳教育の指導法	2		
		総合的な学習の時間の指導法		2	必修
		特別活動の指導法		2	必修
		教育方法論	1		
		ＩＣＴ活用の理論と実践	1		
		生徒指導論	2		
		教育相談とカウンセリング	2		
		進路指導論		2	必修
教育実践に関する科目		教育実習指導（小）		1	必修
		教育実習Ⅰ（小）		2	必修
		教育実習Ⅱ（小）		2	必修
		教職実践演習(小学校)		2	必修
その他の科目		日本の憲法		2	必修
		スポーツと健康(実習)Ａ		1	1単位選択必修
		スポーツと健康(実習)Ｂ		1	
		スポーツと健康科学	2	・	
		英語コミュニケーションA	1		
		英語コミュニケーションB	1		
		情報リテラシー演習	2		

・特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）

区分		授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
特別支援教育の基礎理論に関する科目		特別支援教育論	2		
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的障害者の心理・生理・病理Ⅰ		2	必修
		知的障害者の心理・生理・病理Ⅱ		2	必修
		肢体不自由者の心理・生理・病理		2	必修
		病弱者の心理・生理・病理		2	必修
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	知的障害者教育方法論Ⅰ		2	必修
		知的障害者教育方法論Ⅱ		2	必修
		肢体不自由者教育方法論		2	必修
		病弱者教育方法論		2	必修
特別支援教育領域以外の領域に関する科目（免許状に定められることとなる）	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目				
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目				
	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	視覚障害者教育総論		1	必修
		聴覚障害者教育総論		1	必修
		発達障害者教育論		1	必修
		重複等障害者教育論		2	必修
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		教育実習指導（特別支援）		1	必修
		教育実習（特別支援）		2	必修

別表第２－３　保育士資格取得に関する科目及び単位数

<table>
<tr><th colspan="3">施行規則による教科目</th><th rowspan="2">本学における開講科目</th><th colspan="2">単位数</th><th rowspan="2">備　　考</th></tr>
<tr><th>系列</th><th colspan="2">教科目</th><th>単位数</th><th>必修</th><th>選択</th></tr>
<tr><td rowspan="8">教養科目</td><td colspan="2" rowspan="3">外国語、体育以外の科目</td><td rowspan="3">6 以上</td><td>日本の憲法</td><td></td><td>2</td><td>必修</td></tr>
<tr><td>自然のしくみ</td><td></td><td>2</td><td>必修</td></tr>
<tr><td>情報リテラシー演習</td><td>2</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">外国語</td><td>2 以上</td><td>総合英語Ａ</td><td>2</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">体育</td><td>講義</td><td>1</td><td>スポーツと健康科学</td><td></td><td>2</td><td>必修</td></tr>
<tr><td>実技</td><td>1</td><td>スポーツと健康（実習）Ａ</td><td></td><td>1</td><td>必修</td></tr>
<tr><td colspan="3">計</td><td>10 以上</td><td></td><td>4</td><td>7</td><td></td></tr>
</table>

施行規則による教科目			本学における開講科目	単位数		備　　考
系列	教科目	単位数		必修	選択	
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	2	子育ての原理		2	必修
	教育原理	2	教育原論	2		
	子ども家庭福祉	2	子どもの福祉		2	必修
	社会福祉	2	社会福祉論		2	必修
	子ども家庭支援論	2	子ども家庭支援論	2		
	社会的養護Ⅰ	2	社会的養護	2		
	保育者論	2	保育者論	2		
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	2	教育心理		2	必修
	子ども家庭支援の心理学	2	子ども家庭支援の心理学		2	必修
	子どもの理解と援助	1	幼児理解	2		
	子どもの保健	2	子どもの保健		2	必修
			子どもの病気Ⅰ		2	必修
			子どものメンタルヘルス		2	必修
	子どもの食と栄養	2	子どもの栄養と食生活		2	必修
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	2	幼児・児童教育課程論	2		
	保育内容総論	1	保育内容総論	2		
	保育内容演習	5	保育内容指導法(健康)	1		
			保育内容指導法(人間関係)		1	必修
			保育内容指導法(環境)	1		
			保育内容指導法(言葉)		1	必修
			保育内容指導法(表現)	1		
	保育内容の理解と方法	4	音楽表現基礎演習		1	必修
			子どもと音楽表現		1	必修
			子どもと造形表現		1	必修
			子どもと身体表現		1	必修
	乳児保育Ⅰ	2	乳児保育	2		
	幼児保育Ⅱ	1	乳児保育演習		1	必修
	子どもの健康と安全	1	子どもの健康と安全		1	必修
	障害児保育	2	特別支援基礎演習		2	必修
	社会的養護Ⅱ	1	社会的養護内容		1	必修
	子育て支援	1	子育て支援		1	必修
保育実習	保育実習Ⅰ	4	保育実習Ⅰ		4	必修
	保育実習指導Ⅰ	2	保育実習指導Ⅰ		2	必修
総合演習	保育実践演習	2	保育・教職実践演習（幼・小）		2	必修
計		51		19	38	

別表第２による教科目			本学における開講科目	単位数		備　　考
系列	教科目	単位数		必修	選択	
保育の本質・目的に関する科目	各指定保育士養成施設において設定	１５単位以上	子どもケア論	2		「子どもケア論」を除き４単位以上を履修
			子どもソーシャルワーク		2	
保育の対象の理解に関する科目			子どもの病気Ⅱ		2	
保育の内容・方法に関する科目			子どもと健康	2		
			こどもと言葉	2		
			遊戯療法		1	
			幼小接続論	2		
			子どもと人間関係	2		
			子どもと環境	2		
保育実習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	2	保育実習Ⅱ（保育所実習） 保育実習Ⅲ（施設実習）		2 2	いずれか１科目２単位を履修
	保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	1	保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ		1 1	いずれか１科目１単位を履修
計		18 単位以上		12	11	

教科目	本学における開講科目	単位数		備　　考
		必修	選択	
保育士資格取得科目ではないが、 学校独自の科目として開設されている教科目	ヒューマンケア論	2		
	教育相談とカウンセリング		2	
	生涯発達心理学Ⅰ	2		
	教職入門	2		
	教育行政学		2	
	多文化理解と保育		1	
	教育実習指導（幼・小）		1	
	教育実習Ⅰ（幼・小）		2	
	教育実習Ⅱ（幼・小）		2	
	医療保育概論		2	
	医療保育演習		1	
小　計		6	13	
合　　計		110		

別表第３　入学検定料、入学金及び学費（授業料、教育充実費及び演習・実験・実習費）

・　管理栄養学部管理栄養学科　（単位：円）

費　目	１年次	２年次	３年次	４年次	計	備　　考
入学検定料					35,000	
入学金	200,000				200,000	
授業料	800,000	800,000	800,000	800,000	3,200,000	
教育充実費	380,000	380,000	380,000	380,000	1,520,000	
実験・実習費	90,000	90,000	90,000	90,000	360,000	
計(除く入学検定料)	1,470,000	1,270,000	1,270,000	1,270,000	5,280,000	

なお入学検定料について複数回受験する場合並びに大学入学共通テスト利用入試の場合は、入学検定料を減額することができる。

・　メディア造形学部映像メディア学科　（単位：円）

費　目	１年次	２年次	３年次	４年次	計	備　　考
入学検定料					35,000	
入学金	200,000				200,000	
授業料	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	4,000,000	
教育充実費	400,000	400,000	400,000	400,000	1,600,000	
実験・実習費	125,000	125,000	125,000	125,000	500,000	
計(除く入学検定料)	1,725,000	1,525,000	1,525,000	1,525,000	6,300,000	

なお入学検定料について複数回受験する場合並びに大学入学共通テスト利用入試の場合は、入学検定料を減額することができる。

・　メディア造形学部デザイン学科　（単位：円）

費　目	１年次	２年次	３年次	４年次	計	備　　考
入学検定料					35,000	
入学金	200,000				200,000	
授業料	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	4,000,000	
教育充実費	400,000	400,000	400,000	400,000	1,600,000	
実験・実習費	100,000	100,000	100,000	100,000	400,000	
計(除く入学検定料)	1,700,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	6,200,000	

なお入学検定料について複数回受験する場合並びに大学入学共通テスト利用入試の場合は、入学検定料を減額することができる。

・　メディア造形学部ファッション造形学科　（単位：円）

費　目	１年次	２年次	３年次	４年次	計	備　　考
入学検定料					35,000	
入学金	200,000				200,000	
授業料	850,000	850,000	850,000	850,000	3,400,000	
教育充実費	400,000	400,000	400,000	400,000	1,600,000	
実験・実習費	100,000	100,000	100,000	100,000	400,000	
計(除く入学検定料)	1,550,000	1,350,000	1,350,000	1,350,000	5,600,000	

なお入学検定料について複数回受験する場合並びに大学入学共通テスト利用入試の場合は、入学検定料を減額することができる。

・　ヒューマンケア学部子どもケア学科　（単位：円）

費　目	１年次	２年次	３年次	４年次	計	備　　考
入学検定料					35,000	
入学金	200,000				200,000	
授業料	775,000	775,000	775,000	775,000	3,100,000	
教育充実費	380,000	380,000	380,000	380,000	1,520,000	
実験・実習費	50,000	50,000	50,000	500,000	200,000	
計(除く入学検定料)	1,405,000	1,205,000	1,205,000	1,205,000	5,020,000	

なお入学検定料について複数回受験する場合並びに大学入学共通テスト利用入試の場合は、入学検定料を減額することができる。

・　看護学部看護学科　（単位：円）

費　目	１年次	２年次	３年次	４年次	計	備　　考
入学検定料					35,000	
入学金	200,000				200,000	
授業料	1,060,000	1,080,000	1,100,000	1,120,000	4,360,000	
教育充実費	300,000	300,000	300,000	300,000	1,200,000	
実験・実習費	240,000	240,000	240,000	240,000	960,000	
計(除く入学検定料)	1,800,000	1,620,000	1,640,000	1,660,000	6,720,000	

なお入学検定料について複数回受験する場合並びに大学入学共通テスト利用入試の場合は、入学検定料を減額することができる。

［３年次編入］

・　メディア造形学部映像メディア学科３年次編入　（単位：円）

費　目	３年次	４年次	計	備　　考
入学検定料			35,000	
入学金	100,000		100,000	
授業料	985,000	985,000	1,970,000	
教育充実費	400,000	400,000	800,000	
実験・実習費	100,000	100,000	200,000	
計(除く入学検定料)	1,585,000	1,485,000	3,070,000	

・　メディア造形学部デザイン学科３年次編入　（単位：円）

費　目	３年次	４年次	計	備　　考
入学検定料			35,000	
入学金	100,000		100,000	
授業料	985,000	985,000	1,970,000	
教育充実費	400,000	400,000	800,000	
実験・実習費	100,000	100,000	200,000	
計(除く入学検定料)	1,585,000	1,485,000	3,070,000	

・　メディア造形学部ファッション造形学科３年次編入　　（単位：円）

費　目	３年次	４年次	計	備　　考
入学検定料			35,000	
入学金	100,000		100,000	
授業料	835,000	835,000	1,670,000	
教育充実費	400,000	400,000	800,000	
実験・実習費	100,000	100,000	200,000	
計(除く入学検定料)	1,435,000	1,335,000	2,770,000	

・　ヒューマンケア学部子どもケア学科３年次編入　　（単位：円）

費　目	３年次	４年次	計	備　　考
入学検定料			35,000	
入学金	100,000		100,000	
授業料	740,000	760,000	1,500,000	
教育充実費	380,000	380,000	760,000	
実験・実習費	50,000	500,000	100,000	
計(除く入学検定料)	1,270,000	1,190,000	2,460,000	